

後志広域連合 広域連合だより

第3号

平成24年1月発行

後志広域連合

〒044-8588

虻田郡倶知安町北1条東2丁目

後志合同庁舎車庫棟2階

TEL 0136-55-8010 FAX 0136-22-4466

ホームページ: <http://shiribeshi.org/>



新年あけましておめでとうございます。

構成町村の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、3月11日に発生した「東日本大震災」、想定されていなかった大規模の地震、津波、そして原発事故という大規模自然災害の凄まじさを見せつけられ、国民に衝撃を与えました。この震災を通じて、自然災害は一地域にとどまらず広域に及ぶということを改めて認識し、広域での関係町村の役割と連携のあり方、そしていざという時に頼りになれる人や近隣町村の大切さなど、多くのことを学びました。

本広域連合は、地方財政の厳しい状況の中ではありますが、その社会経済情勢の変化に柔軟に対応し、地域の持つ豊かな可能性や潜在力を最大限に生かし、関係町村が互いに連携して、後志地域の振興と発展を目指して取り組んでいく所存でございます。

今後とも、構成町村の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに皆様方の益々のご健勝をお祈り申し上げ、新年に寄せての挨拶といたします。

後志広域連合長 宮谷内 留雄（蘭越町長）



皆様あけましておめでとうございます。

この度の平成23年第2回定例会において、後志広域連合議会第3代の議長に就任いたしました。社会情勢が大きく変化中、地方自治体及び広域連合等の行政運営においては、より高度で様々な側面からの取組みが必要とされ、広域連合議会の果たす役割は大きく、議長の職責の重大さを痛感するとともに住民の代表である議会として、皆様のご意見を広域連合の施策に反映できるよう議論を重ねてまいります。「後志がより豊かになり、住民が幸せを実感できる地域の発展」のため、私は後志広域連合の精神として

この思いを胸に刻み、決意も新たに広域行政の改革の推進に臨みます。また全議員が一丸となり、住民のための広域連合、開かれた広域連合、誠心誠意全力を尽くす所存でございます。今後とも温かいご指導とご協力をお願い申し上げます。

後志広域連合議会議長 鈴木 保昭（倶知安町議会議長）

平成23年後志広域連合議会第2回定例会が開催

平成23年後志広域連合議会第2回定例会が11月28日倶知安町のホテル第一会館3階会議室で開催されました。

定例会では、宮谷内広域連合長より、「広域連合への人的支援について」行政報告がありました。

また、議長及び副議長の選挙が行われ、議長には、鈴木保昭議員（倶知安町議会選出）、副議長には、岩井英明議員（赤井川村議会選出）が当選されました。

また監査委員には、岩本幹兒議員（積丹町議会選出）の選任が同意されました。

提出案件は、次のとおりとなりました。

就任あいさつ

平成23年第2回定例会におきまして、各議員皆様のご推挙により、副議長という要職を務めさせていただくことになりました。

私は広域連合議会の果たすべき役割と責任は大きいものであり、その責任の重大さを痛感しております。

微力ではございますが、議長の補佐役として、後志広域連合の発展のため、適正な運営に寄与できるよう熱意をもって努力してまいります。

今後とも皆様方のご指導とご支援をお願い申し上げます。

後志広域連合議会議長 岩井 英明
（赤井川村議会議長）



【提出案件】

- ◇ 選挙第1号 議長の選挙 当選
- ◇ 選挙第2号 副議長の選挙 当選
- ◇ 認定第1号 平成22年度後志広域連合一般会計歳入歳出決算認定について 認定
- ◇ 認定第2号 平成22年度後志広域連合国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について 認定
- ◇ 認定第3号 平成22年度後志広域連合介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について 認定
- ◇ 議案第1号 平成23年度後志広域連合一般会計補正予算（第1号） 原案可決
- ◇ 議案第2号 平成23年度後志広域連合国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 原案可決
- ◇ 発議第1号 後志広域連合議会会議規則の一部改正について 原案可決
- ◇ 同意第1号 後志広域連合監査委員の選任同意について 原案同意

平成23年後志広域連合議会第3回臨時会が開催

平成23年後志広域連合議会第3回臨時会が9月30日倶知安町のホテル第一会館3階会議室で開催されました。

臨時会では次の議案が提出され同意されました。



【提出案件】

- ◇ 同意第1号 後志広域連合副広域連合長の選任につき同意を求めることについて 原案同意

就任あいさつ



10月1日付をもちまして後志広域連合副広域連合長を拝命いたしました。厳しい社会情勢が続いておりますことから、地方公共団体を取り巻く環境も厳しい財政状況、重要課題の解決等に直面しております。

そのような中、広域行政がこれらの課題解決の一助として位置づけられておりますことを常に念頭において、改めて、本広域連合の目的でもあります「それぞれの町村の持つ豊かな可能性や潜在能力を最大限生かしながら関係町村の連携を強化して、更なる行財政運営の効率化を図って効果的な広域行政サービスの充実」の推進に向かって微力ではありますが誠心誠意努力いたしたいと存じますので皆様方のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

後志広域連合副広域連合長 南 修

平成23年後志広域連合議会第2回臨時会が開催

平成23年後志広域連合議会第2回臨時会が8月23日倶知安町のホテル第一会館3階会議室で開催されました。

この臨時会において、宮谷内広域連合長から、平成22年9月に発生した「介護保険制度における介護報酬請求の不正受給」の経過と「菊地副広域連合長の退職」についての行政報告がありました。

提出案件については、平成23年度補正予算案2件が可決されました。



【提出案件】

- ◇ 議案第1号 平成23年度後志広域連合国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） . . . 原案可決
- ◇ 議案第2号 平成23年度後志広域連合介護保険事業特別会計補正予算（第1号） . . . 原案可決

日常生活圏域ニーズ調査の結果をお知らせします。

この日常生活圏域ニーズ調査は、高齢者の地域（日常生活圏域）での生活状況や健康状態などを把握し、第5期後志広域連合介護保険事業計画（平成24年度から平成26年度）に反映させるための基礎資料を得ることを目的に平成23年4月中旬から5月下旬にかけて実施しました。

○ 調査対象者・調査方法

この調査の対象者及び調査方法は次のとおりです。

調査期間は、平成23年4月15日から5月30日まで、調査票を郵送配布・回収により実施しました。

（調査対象者）

一般高齢者	平成23年4月1日現在、関係16町村の介護保険被保険者のうち、要介護認定を受けていない一般高齢者全員（約15,000人）
介護保険認定者	平成23年4月1日現在、関係16町村の介護保険被保険者のうち、要介護認定の要支援1から要介護2まで約2,000人から抽出した212人

*認定者については、各関係町村の地域包括支援センターのご協力により実施しました。

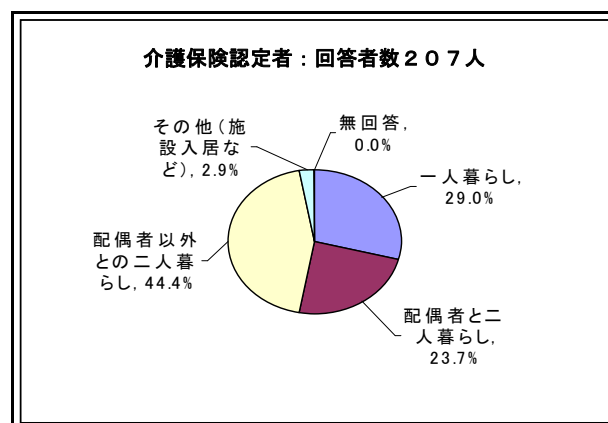
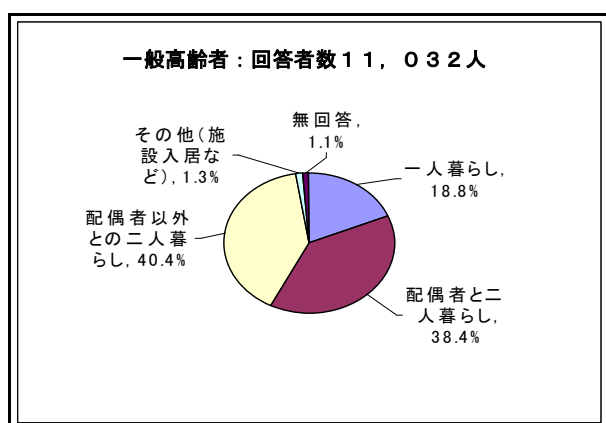
○ 回収結果

回収結果は次のとおりでした。

対象者	対象者数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者	14,975人	11,032人	73.7%
介護保険認定者	212人	207人	97.6%

【世帯の状況】

世帯の状況について聞いたところ「ひとり暮らし」と「配偶者との二人暮らし」の割合が高く、一般高齢者57.2%、介護保険認定者52.7%と高い傾向になっています。

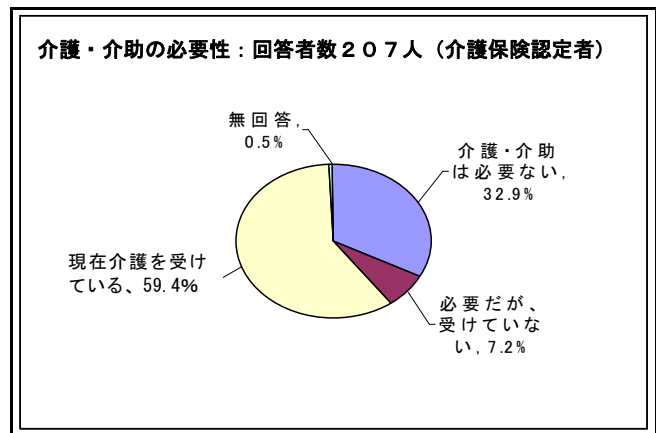
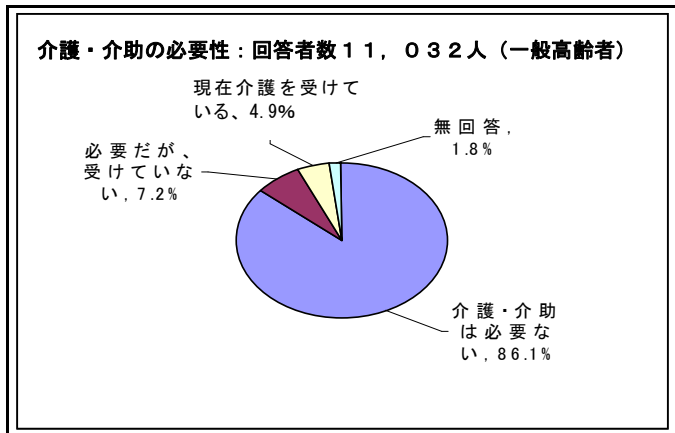


【介護・介助の必要性】

「あなたは、普通の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか」

介護・介助の必要性について一般高齢者の方は、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は、受けていない」が7.2%「現在、何らかの介護を受けている」が4.9%でこれらを合わせると、12.1%の方が「必要である」と回答しています。

また、介護保険認定者では、「現在、何らかの介護を受けている」が59.4%で最も高く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は、受けていない」が7.2%となっています。一般高齢者の方と異なり、「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方が6割近くになっています。

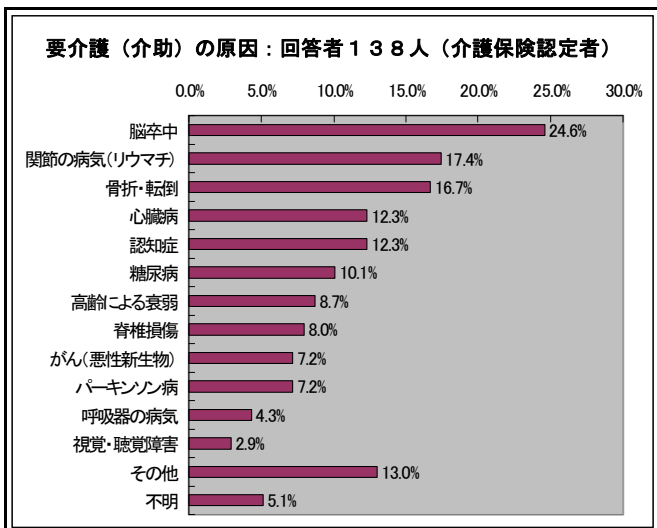
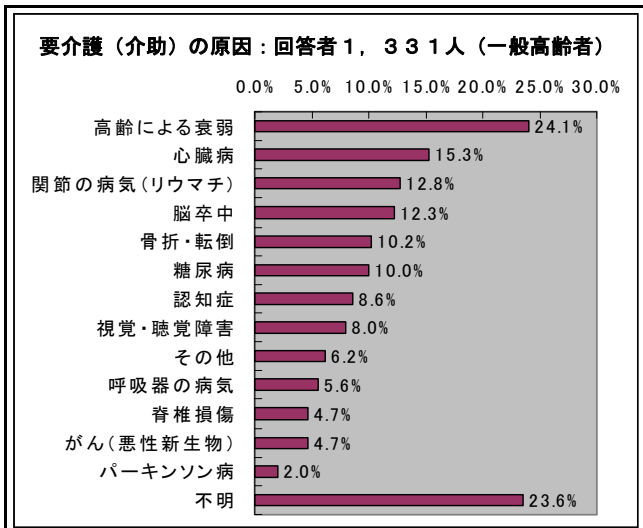


【要介護（介助）の原因】

「介護・介助が必要な方に伺います。介護・介助が必要となった主な理由は何ですか」

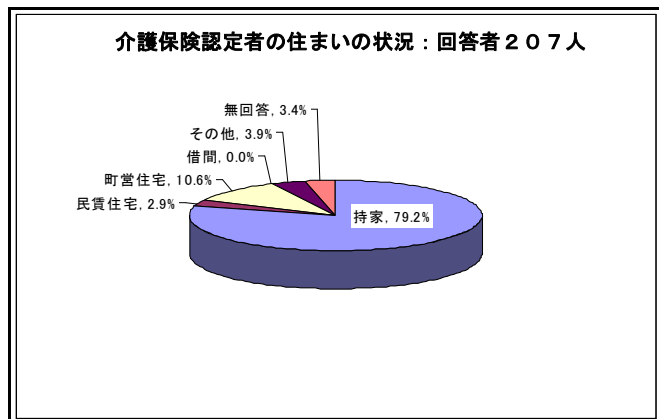
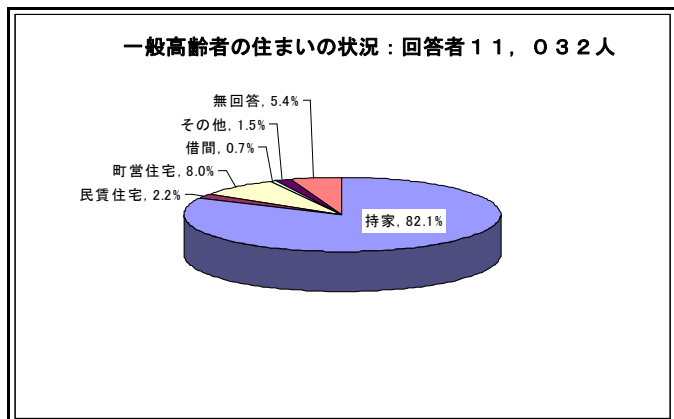
介護・介助の必要性について「何らかの介護・介助は必要だが、現在は、受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人に対し、要介護・介助の原因について聞いたところ、一般高齢者では、「高齢による衰弱」が24.1%で最も多く、次いで「心臓病」が15.3%で続いています。

また、介護保険認定者は、「脳卒中」が24.6%で最も高く、次いで「関節の病気（リウマチ）」17.4%、「骨折・転倒」が16.7%と続いています。



【住まいの状況】

「あなたの住まいは、次のどれですか」と聞いたところ、持家が最も高く、一般高齢者で82.1%、介護認定者で79.2%となっており、次いで「町営（村営）住宅」と続いています。



この調査結果は、平成23年度に策定する第5期後志広域連合介護保険事業計画策定の貴重な資料として活用されます。詳しい実態調査結果については、介護保険課までお問い合わせください。